

## ロタウイルスワクチン(ロタリックス)の説明



静岡県立こども病院 予防接種センター

### 1) ロタウイルス感染症

ロタウイルスは、乳児に重症下痢症状を引き起こし、しばしば入院の原因となります。まれですが、脳症を引き起こし、死亡したり後遺症を残すことがあります。

### 2) ワクチンの効果

ロタウイルスに乳児に腸炎の予防効果は 80～90%と評価されています。特に、重症感染症の予防効果が高いとされています。

### 3) ワクチンの特徴

弱毒化したヒトロタウイルスを精製した生ワクチンです。

### 4) 接種方法 (ロタリックス)

○1 回 1.5ml を 4 週間以上の間隔をおいて 2 回内服させます。

○生後 6 週より初回接種を開始し、生後 24 週までに完了させます。

参考:ロタテックの場合

・1 回 2ml を 4 週間以上の間隔をおいて 3 回内服させます。

・生後 6 週より初回接種を開始し、生後 32 週までに完了させます。

### 5) 副反応

下痢や嘔吐、発熱が数%にみられます。まれに腸重積が発生します。

### 6) 接種上の注意点

○在胎 27 週未満の未熟児には接種できません。

○接種直後に大半を嘔吐した場合は再度 1.5ml(ロタテックの場合は 2ml)を内服させます。

○生後 24 週(ロタテックの場合は 32 週)を過ぎて接種すると腸重積発生のリスクが高まる可能性があります。

### 7) 接種後の注意

○ワクチン接種後 30 分間は院内にとどまり、様子を観察して下さい。この間に全く異常が見られなければ看護師にその旨、一声かけて帰宅して下さい。

○接種後しばらくの間(ピークは接種後 1 週間頃)はワクチンウイルスが便中に排泄されるので、便の処理をした場合は必ず手洗いをして下さい。